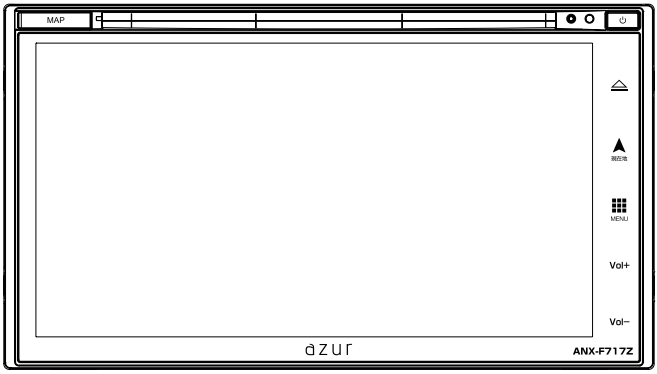
azur

6.75インチフルセグチューナー内蔵メモリーナビゲーション

ANX-F717Z

取扱説明書



保証書別添付

このたびは、6.75インチフルセグチューナー内蔵メモリーナビゲーションをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

●「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要な時にお読みください。
保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

＜販売店様へ＞
取付・接続が完了しましたら、本取扱説明書はお客様へお渡しください。

目次

はじめに

■安全上のご注意（必ずお守りください）---------- 1
■商品構成一覧表 ---------- 4
■各部の働き ---------- 6

操作方法

■メインメニュー画面の操作 ---------- 7
■テレビを観る ---------- 11
■ラジオを聴く ---------- 14
■メディアを再生する ---------- 16
■オーディオ設定 ---------- 24
■本体設定 ---------- 25

付属品の使用方法

■電源 、ケーブルの接続方法 ---------- 32
■本体の設置方法 ---------- 34
■フィルムアンテナについて ---------- 35
■フィルムアンテナの構成 ---------- 36
■貼付位置について ---------- 37
■フィルムアンテナを貼り付ける ---------- 38
■アンプホルダーを給電端子部に貼り付ける ---------- 40
■アンテナケーブルを固定する ---------- 41
■アンテナ端子を接続する ---------- 41
■トラブルシューティング ---------- 42
■本機で使用できるメディアとフォーマットについて ---------- 45
仕様 ---------- 46

※本取扱説明書記載の画像やイラストはイメージです。実際とは異なる場合があります

安全上のご注意（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明します。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明します。（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

⚠ 警告

必ず規定容量のヒューズを使用する また、交換は専門技術者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店またはサービスセンターにご依頼ください。
(規定容量：15A)

運転や視界を妨げたり、同乗者に危険をおよぼす場所には、絶対に取り付けない

禁止

運転に支障をきたす場所（シフトレバー、ハンドル付近など）前方・後方の視界を妨げる場所、同乗者に危険をおよぼす場所へ、取り付けは、交通事故やけがの原因になります。

取り付けには車両の保安部品のボルトやナットを絶対に使用しない

禁止

ステアリングやブレーキなどの保安部品のボルトやナットを使用して取り付けると、事故の原因となります。

運転者は走行中に操作をしない,また画像・表示を注視しない

禁止

走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる

車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

コード類は、運転や乗り降りの妨げるにならないように引き回す

ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておくなどしてください。事故やけがの原因になります。

⚠ 警告

車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付ける

車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を施してください。火災や感電、事故の原因になります。

DC12V㊀マイナスアース車で使用する

DC 12Vマイナスアース車専用です。上記以外のお車には使用出来ません。火災や故障の原因となります。

故障や異常のまま使用しない

煙が出る、変なにおいがする等の異常な状態で使用すると発火などの原因となります。

禁止

●直ちに使用を中止してお買い上げの販売店にご相談ください。

分解や改造はしない

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

分解禁止

●内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

キャップなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

あやまって、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

禁止

機器内部に水や異物を入れない

内部に金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良になるばかりでなく、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙・発火、感電の原因になります。飲み物などがかからないようにご注意ください。

禁止

大きな音量で使用しない

車外の音が聞こえない状態での運転は、交通事故の原因になります。

禁止

指示に従って正しく配線・取り付けを行う

説明書に従って正しく配線・取付をしないと火災や事故の原因となります。

使用しないコードの先端などは、絶縁する

被覆がない部分が車の金属部に接触しないように、テープなどで絶縁してください。ショートにより火災や感電の原因になります。

配線・取り付け作業中は、必ずバッテリーのマイナス㊀端子を外しておく

バッテリーのマイナス㊀端子をつないだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。

⚠ 注意

本機の通風孔を塞がない

禁止

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

配線・取り付け/取り外しは、専門技術者に依頼する

取り付けと配線は、専門技術と経験が必要です。

●安全のため､お買い上げ の販売店にご依頼ください。

車載用以外には使用しない

禁止

車載用以外（例えばレジャーボートやアウトドアなど）に使用すると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。

強い衝撃を与えない

禁止

落下させる、たたくなどして衝撃を与えると、故障や火災の原因になることがあります。

コードをかみ込ませたり、引っ張ったり傷つけない

禁止

ショートや断線により、発火や故障の原因となることがあります。

必ず付属品や指定の部品を使用する

指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

高温になる場所などに取り付けない

禁止

直射日光やヒーターの熱風などが直接あたると内部温度が上昇し、火災や故障の原因になることがあります。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない

禁止

雨や洗車などで水がかかったり、湿気・ほこり・油煙などが入ると、発煙・発火、感電、故障の原因になることがあります。

振動の多いところや不安定な場所に取り付けない

禁止

走行中にはずれる.落下するなど、事故やけがの原因になることがあります。

商品構成一覧表

本機には、次のものが同梱されています。設置、接続の前にご確認ください。万一、足りない場合や破損していた場合は、販売店またはサービスセンターまでご連絡ください。

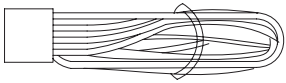
■ 本体

■ 取扱説明書

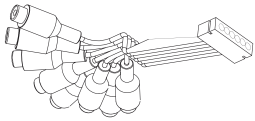
■ ナビゲーション取扱説明書

■ 保証書

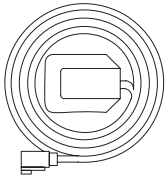
■ 電源ケーブル



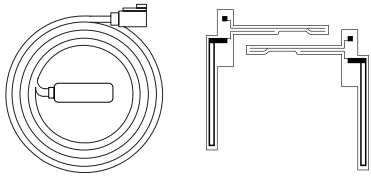
■ AV ケーブル



■ GPSアンテナ

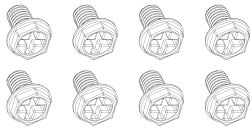


■ フィルムアンテナセット×２



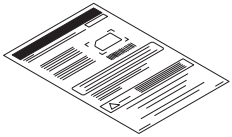
■ 地図マイクロSDカード(本体内蔵)

■ 取り付け用ネジ8本

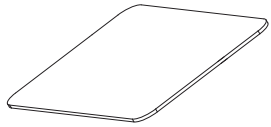


商品構成一覧表（つづき）

■ B-CASカード



■ 金属プレート



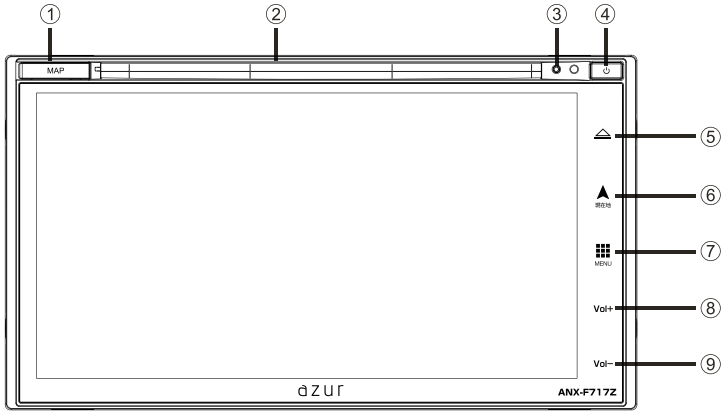
■ 3Mテープ（GPSアンテナ用）

⚠ 使用のご注意

地図専用 microSDカードについての注意事項

・本体に内蔵している microSDカードは地図専用となりますので、メディアとしての使用はできません。また、データの消去は絶対に行わないでください。
・microSDカードは直射日光のあたる場所など、高温になる場所に置かないでください。故障や変形の原因となることがあります。
・microSDカードの端子に、手や金属で触れないでください。故障の原因となることがあります。

各部の働き



1 micro SD カード挿入口
※ 地図データが書き込まれている専用 micro SD カードが収納されています。
※ 更新作業以外は抜き差しをしないでください。本機に電源が入っている状態で地図カードの抜き差しをしないでください。

2 ディスク挿入口
ディスク（DVD/CD）の挿入口です。
※ディスクを挿入する前に、本体上部の運送ネジを取り外してください。
※運送ネジが装着されている状態では、ディスクを挿入することができません。

3 リセットボタン
ナビゲーションの設定以外は、このボタンを押すと、工場出荷設定に戻ります（初期化されます）。

4 電源ボタン
電源オフ状態でこのボタンを押すと、電源オンします。電源オン状態でこのボタンを長く押すと、電源オフします。

5 イジェクトボタン
ディスクを取り出します。

6 現在地ボタン
このボタンをタッチすると、現在地画面に遷移
※ナビ画面中とバックカメラ画面中は無効です。

7 メニューボタン
ナビモードで短くタッチすると、ナビメニュー画面に遷移する。それ以外AVメニュー画面に遷移する。長くタッチすると、スクリーンオフなります、バックカメラ画面中、AV・本体設定画面中、オーディオ設定画面中は無効です。

8 Vol+ボタン
音量が上がります。
※DISCローディング画面中とバックカメラ画面中無効です。

9 Vol-ボタン
音量が下がります、長押しすると、音量ミュートされます。
※DISCローディング画面中とバックカメラ画面中は無効です

メインメニュー画面の操作

電源の ON/OFF

1 電源を入れる

イグニッションキーを［ACC］または［ON］にすると、電源が ON になります。
エンジンをかけ、本体の［電源］ボタンを押すとオープニング画面が表示 され、
メインメニューが表示されます。

※ 2回目以降に本機を起動した場合は、前回電源を切る前のソースで起動します。

2 電源を切る

イグニッションキーを［OFF］にすると、電源が OFF になります。
本体の電源が ON の時に、［電源］ボタンを長く押すと､電源が切れます。

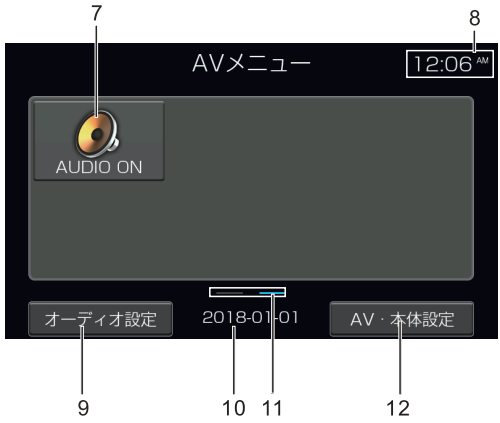
※ 電源を切る時には、音量を最小にしてください。電源 ON 時に 大音量が出力
され、運転の妨げや聴覚障害などの原因となることがあります。

メインメニュー画面の操作（つづき）

メインメニュー

メニュー画面１

メニュー画面2



メインメニュー画面の操作（つづき）

メインメニュー 内のアイコンをタッチすると、タッチしたモード画面が表示されます。

ナビゲーション

1 「AV」ボタンをタッチすると、メインメニュー画面に切り替わります。

ナビゲーションモードに入ります。

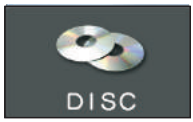
DTV

2 TV画面が表示されます。受信可能状態の場合は、番組が表示されます。
受信可能状態ではない場合は、「信号がありません」と表示されます。

DISC

3 本機対応のディスクが挿入されている場合、CDもしくはDVDが再生されます。

ディスクが挿入されていない場合は、アイコンをタッチしても画面の切替はできません。



FM/AM

4 ラジオ画面に切り替わります。

USB

5 本機にUSBデバイスが接続されている場合、USBデバイス内にあるオーディオやビデオファイル等を再生することができます。

USBデバイスが接続されていない場合は、アイコンをタッチしても画面の切替はできません。

VTR

6 外部入力に接続されているオーディオやビデオの画面が表示されます。
ビデオ信号がない場合、「映像信号が入力されていません」と表示されます。

メインメニュー画面の操作（つづき）

AUDIO ON

7

AVソースの音声出力のON/OFFを切替えます。
AUDIO ON　:音声出力されます
AUDIO OFF :音声出力はミュートされます

※AUDIO OFFであっても、ナビガイド音声はミュートされません

現在時刻の表示

8

現在の時刻を表示します。

オーディオ設定

9

イコライザー設定画面に切り替わります。

現在日時の表示

10

現在の日時を表示します。

設定前へ/次へボタン

11

メインメニューのページを切り替えます。

AV・本体設定

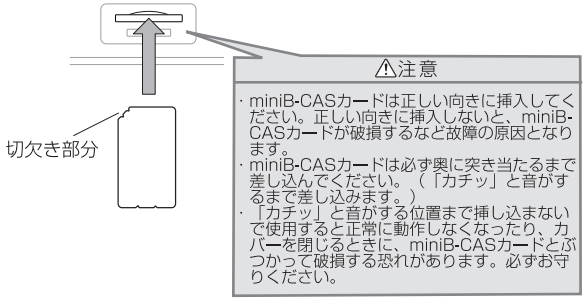
12

本体の設定画面に切り替わります。

テレビを観る

B-CASカードのセット

金属端子面を下側、切欠き部を奥左側の向きにして、miniB-CASカードをカード挿入口に挿入します。



メインメニュー画面の【DTV】アイコンをタッチすると、TV画面が表示されます。
TV信号がない場合、「信号がありません」と表示されます。
本体の「MENU」ボタンを押すとAVメニュー 画面に戻ります。
TV信号がある場合、テレビ再生中の画面を表示します。再生画面をタッチすると以下の操作バーが表示されます。

※無操作で数秒経過すると操作バーが自動的に非表示となります

図1

テレビを観る(つづき)

図2

1 設定ボタン
このボタンをタッチすると、図2のようなテレビ設定メニュー画面に切り替わります。
もう一度タッチすると、図1に戻ります。

2 3 CH-/CH＋ボタン
テレビを受信する時、 ボタンと ボタンで、CH-とCH+を行ないます。
ボタンをタッチすると、前のチャンネルを受信します。
ボタンをタッチすると、次のチャンネルを受信します。

4 主/副音声切替ボタン
主音声/副音声がある番組で、音声を切替えます。
主音声（ M）、副音声（ S）の項目から選択します。
工場出荷時：主音声
※設定はチャンネルを切り替えても継続されます。

5 字幕切替ボタン
字幕放送の字幕表示/非表示についての設定ボタンです。
字幕放送を行っているチャンネルをご覧になるとき、第一言語のみ表示できます。

6 クイックサーチボタン
受信しているチャンネルが見づらくなった場合、受信状態の良い中継局を検索して
切り替えます。

7 番組表示ボタン
このボタンをタッチすると、 現在受信中のチャンネル番組表一覧が表示されます。
「UP」と「DOWN」ボタンで、スクロールして、見たい番組をタッチすると、
詳細情報が表示されます。確認後、戻るボタンをタッチして終了します。

テレビを観る(つづき)

8 チャンネルリストボタン
このボタンをタッチすると、現在受信しているチャンネルリストが表示されます。
上下スライドして表示されたチャンネルリストから、見たいチャンネルをタッチします。
このボタンをもう一度タッチして再生画面に戻ります。

9 「全スキャン」ボタン
このボタンをタッチすると、チャンネルスキャン決定の画面が表示されます。
「決定」ボタンをタッチすると、スキャンが開始されます。
スキャンが終了すると、テレビ画面に切り替わります。

10 「受信モード」ボタン
このボタンをタッチして受信モードの切り替えができます。
自動：フルセグ放送とワンセグ放送を自動で切り替えます。
　　強電界地域ではフルセグを受信します。
　　弱電界地域ではワンセグを受信します。
フルセグ：フルセグ放送を受信します。
ワンセグ：ワンセグ放送を受信します。

11 中継局サーチボタン
自動に設定すると、現在地の受信感度が低下した場合、現在地から最も近い中継局を自動的に検索し中継局サーチを行います。

12 「初期設定」ボタン
このボタンをタッチすると、初期化決定の画面が表示されます。
「決定」ボタンをタッチすると、プリセットチャンネルリストや設定を初期化(工場出荷状態)します。

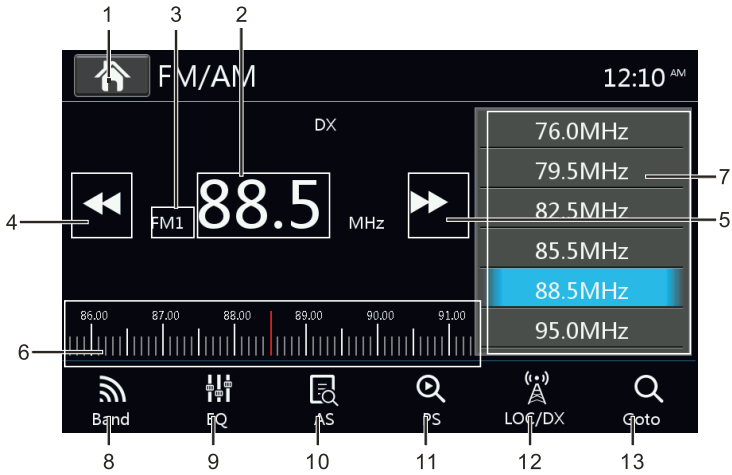
13 「情報」ボタン
このボタンをタッチすると、mini B-CASカードのID番号とバージョンの確認画面が表示されます。 ボタンをタッチするとテレビ再生画面に戻ります。

上側:ID番号が表示されます。
下側:バージョンが表示されます。
右端:update ボタンが表示されます。
※DTVのupdateファイルを利用するときに使用します(普段は使用しません)
※無操作で数秒経過すると情報プレートが自動的に非表示となります

ラジオを聴く

メインメニュー画面の「FM/AM」をタッチすると、ラジオソース画面に切り替わります。

ラジオ基本画面



1 Homeボタン
メインメニュー画面に戻ります。

2 受信周波数表示
現在受信中の周波数が表示されます。

3 バンド表示
現在受信しているバンドが表示されます。

4 SEEK DOWN
短くタッチすると、現在の周波数より低い周波数に切り替えます。
※FM＝0.1Setp、AM＝9Step
長くタッチすると、現在の周波数より低い周波数を自動的にサーチします。

5 SEEK UP
短くタッチすると、現在の周波数より高い周波数に切り替えます。
※FM＝0.1Setp、AM＝9Step
長くタッチすると、現在の周波数より高い周波数を自動的にサーチします。

6 サーチバー
赤い縦線をフリックすると、任意の周波数に調整することができます。

7 放送局リスト
プリセットされた周波数（放送局）をリスト表示します。
任意のリストをタッチすると、プリセットされた周波数（放送局）を受信します。

8 Bandボタン
バンドを切り替えることができます。
※FM1/FM2/FM3/AM1/AM2

ラジオを聴く(つづき)

9 EQボタン
(詳しくは P24~25を参照してください。)

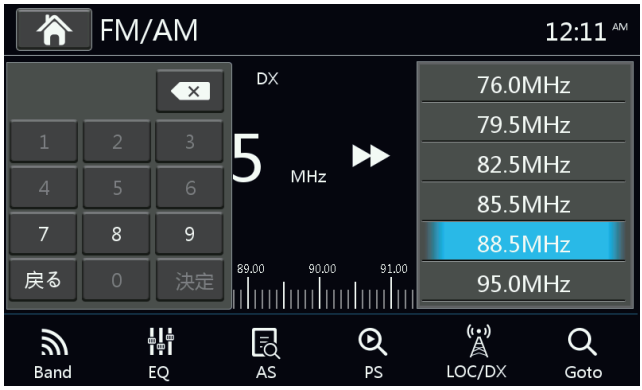
10 ASボタン
このボタンをタッチすると、リストにプリセットされた周波数(放送局)をダイジェストスキャンします。

11 PSボタン
このボタンをタッチすると、現在メモリされている放送局を順番に数秒間受信します。好みの放送局が受信されたら、もう一度このボタンをタッチして、プリセットスキャン動作を解除しますと、受信中の放送局が継して受信できます。

12 LOC/DCボタン
SEEKボタンによる自動サーチをした時、各モードによってサーチの方法を切り替えることができます。

- Localモード：周波数（放送局）サーチを行うと、ノイズの多い周波数（放送局）をスキップして、受信レベルの強い周波数（放送局）のみをサーチします。
- DXモード：ノイズの多い周波数（放送局）もサーチします。そのため、サーチできる周波数（放送局）はLocalモードよりも多くなります。
- 工場出荷時：DX

13 Gotoボタン
次の画面が表示されます。



任意の周波数をダイレクトサーチします。入力可能な周波数は以下となります。
- FM＝76～95（MHz）
- AM＝522～1629（kHz）

例）FMの79.5MHzをサーチしたい場合
バンドをFMに切り替え、テンキーで[7]→[9]→[5]と入力し、[決定]をタッチします

メディアを再生する

DVDの再生画面

DVDが挿入されている場合、メインメニュー画面の「DISC」アイコンをタッチすると、DVD画面が表示されます。

■ 操作プレートについて

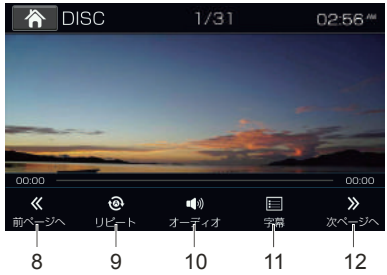
操作をしない状態が数秒経過すると、操作プレートが非表示となります。操作プレートを表示させたい場合は、画面をタッチします。

■ 走行規制について

走行中は安全のため、画面に映像が表示されません。停車中でパーキングブレーキをかけている時に映像を観ることができます。

DVD基本画面1

DVD基本画面2



DVD基本画面3

メディアを再生する(つづき)

1 Homeボタン
メインメニュー画面に戻ります。

2 プログレスバー
再生時間をバー表示します。任意の場所をタッチすると、早送り/早戻しができます。

3 メニューボタン
ディスクのメニュー画面に入ります。

4 前へ / 早戻しボタン
短押し＝前のチャプターへもどります。
長押し＝タッチし続けると早戻しされます。

5 再生/一時停止ボタン
再生中にこのボタンをタッチすると、再生を一時停止します。もう一回タッチすると、再生を再開します。

6 次へ / 早送りボタン
短押し＝次のチャプターへもどります。
長押し＝タッチし続けると早送りされます。

7 次ページへ
操作プレートのページを切り替えます。

8 前ページへ
操作プレートのページを切り替えます。

9 リピートボタン
タッチするたびにリピートの種類を切り替えることができます。
※チャプターリピート/タイトルリピート/全リピート/リピートオフ

10 音声 ボタン
ディスクに 2 種類以上の音声または音声言語が収録されている場合、再生中に音声を切り替えることができます。
※ ディスクにより音声切り替えがない場合があります。
※ 音声の切り替えに多少時間がかかる場合があります。

11 字幕ボタン
字幕言語を切り替えます。
字幕をOFFにしたい場合は、字幕が非表示になるまで[字幕]ボタンをタッチしてください。
※ディスクにより字幕言語が切り替えられない場合があります。
※字幕言語の切り替えに多少時間がかかる場合があります。

12 次ページへ
操作プレートのページを切り替えます。

メディアを再生する(つづき)

13 アングルを切り替えることができます
※ディスクがマルチアングルの場合

14 情報ボタン
ディスクの情報が表示されます。
※メディアや書き込み内容により、ディスク情報が正しく表示されない場合があります

15 サーチボタン
10キーボード画面が表示されます。再生したいタイトルやチャプター番号を入力して[決定]ボタンをタッチすると指定したタイトルやチャプターを再生します。

16 タイトル
このボタンをタッチして再生のタイトルが選択できます

17 次ページへ
操作プレートのページを切り替えます。

メディアを再生する(つづき)

CDの再生画面

CDが挿入されている場合、メインメニュー画面の「DISC」アイコンをタッチすると、CD画面が表示されます。

CD基本画面

1 Homeボタン
メインメニュー画面に戻ります。

2 情報表示
CD-Rなどメディア情報（タグデータ）が書き込まれたディスクの場合、アーティスト名/アルバム名/曲名が表示されます。
※ディスク情報がない場合は「Unknown」表示されます
※メディアや書き込み内容により、ディスク情報が正しく表示されない場合があります

3 プログレスバー
再生時間をバー表示します。任意の場所をタッチすると、早送り/早戻しができます。

メディアを再生する(つづき)

4 Listボタン
リスト画面に切り替えます。

5 7 前へ/次へボタン
再生中に[前へ]または[次へ]ボタンをタッチすると、前のトラックまたは次のトラックに切り替わります。タッチ続けると、速送り/速戻りされます。

6 再生/一時停止ボタン
再生中にこのボタンをタッチすると、再生を一時停止します。もう一回タッチすると、再生を再開します。

8 リピートボタン
タッチするたびにリピートの種類を切り替えることができます。
※ 全リピート/1トラックリピート/1フォルダーリピート

9 ランダムボタン
タッチするたびにランダムのON/OFFを切り替えることができます。

10 EQ設定
詳細はP24-25をご参照してください。

メディアを再生する

USB メモリーのリスト画面

USBミュージックリスト画面

1 基本表示ボタン
リスト画面から基本画面へ切り替えます。

2 サーチボタン
このボタンをタッチすると、10キー入力画面が表示されます。再生したいトラック番組を10キーで入力し「決定」ボタンで確定します。「戻る」ボタンをタッチしてこの画面を閉じます。

3 ミュージックボタン
USBメモリー内にあるミュージックファイルが表示されます。
再生したいファイル名を選択すると、基本画面に切り替わり再生が始まります。

4 ビデオボタン
USBメモリーにあるビデオファイルが表示されます。
再生したいファイル名を選択すると、基本画面に切り替わり再生が始まります。

メディアを再生する(つづき)

USBミュージック

USBミュージック基本画面

1 Homeボタン
メインメニュー画面に戻ります。

2 情報表示
再生されているファイル情報が表示されます。
※ファイルにデータ（タグ）情報がない場合は「Unknown」表示されます

3 プログレスバー
再生時間をバー表示します。任意の場所をタッチすると、早送り/早戻しができます。

4 Listボタン
リスト画面に切り替えます。

5 7 前へ/次へボタン
再生中に[前へ]または[次へ]ボタンをタッチすると、前の曲 または次のファイルに切り替わります。タッチ続けると、速送りまたは速戻りされます。

6 再生/一時停止ボタン
再生中にこのボタンをタッチすると、再生を一時停止します。もう一回タッチすると、再生を再開します。

8 リピートボタン
タッチするたびにリピートの種類を切り替えることができます。
※1トラックリピート/1フォルダリピート/全リピート

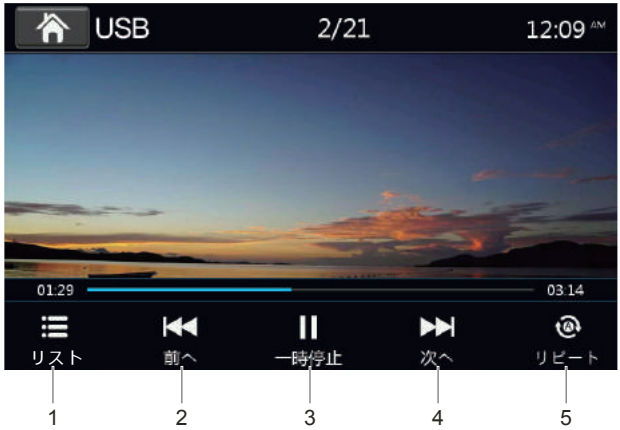
9 ランダムボタン
タッチするたびにランダムのON/OFFを切り替えることができます。

10 EQ ボタン
（詳しくは P24-25を参照してください。）

メディアを再生する(つづき)

USBビデオ

■ 走行規制について
走行中は安全のため、画面に映像が表示されません。停車中でパーキングブレーキをかけている時に映像を観ることができます。



1 リストボタン
リスト画面に切り替えます。

2 4 前へ/次へボタン
再生中に前へ又は次へをタッチすると、前のファイル又は次のファイルの再生画面に入ります。（USBメモリーリストの順番で）
タッチし続けると、早送り／早戻しすることができます。再生速度が2,4,8,16倍になります。タッチをやめると、通常再生に戻ります。

3 「一時停止/再生」ボタン
再生中にこのボタンをタッチすると再生を一時停止します。もう一度タッチすると、再生を再開します。

5 リピートボタン
タッチするたびに、リピートの種類が切り替えることができます。
※1トラックリピート/1フォルダリピート/全リピート

⚠ご注意
USB音楽／動画モード再生中にUSBメモリーを取り外すと、データが損傷する場合があります。TOP MENU画面で「USB」アイコン以外を選択するか、本体の電源を切った後、USBメモリーを取り外してください。

オーディオ設定

イコライザー設定

各ソース画面の[EQ]ボタンをタッチすると、以下のEQ（イコライザー）設定画面に切り替わります。

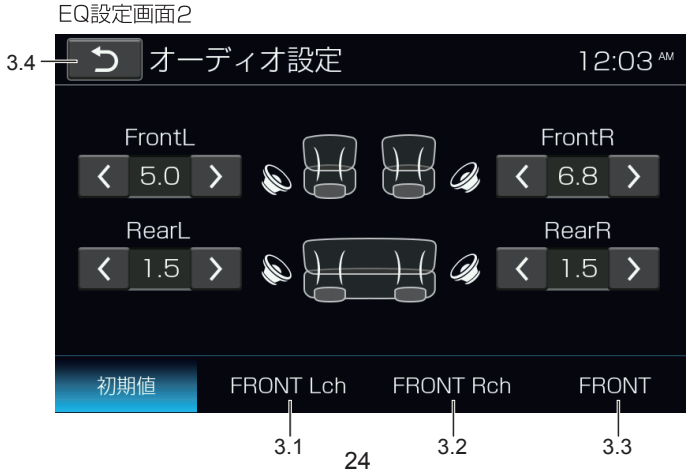
EQ設定画面1

1 Backボタン
前画面に戻ります

2 プリセットされたプリセットカーブを表示します。
お好みのプリセットカーブをタッチして選択します。

3 タイムアライメント
このボタンをタッチすると、下記EQ設定図面2になります。

EQ設定画面2



オーディオ設定

イコライザー設定

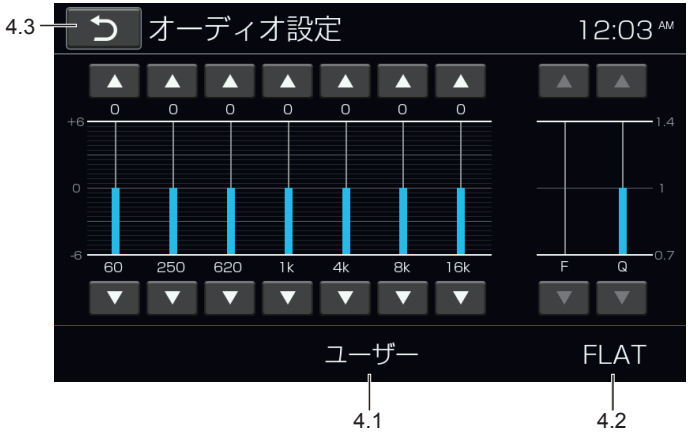
初期値画面には[>]ボタンまたは「<」ボタンをタッチして、車内各席の音声を調整することができます。調整ができた後、3.4の戻るボタンをタッチすると、調整内容が保存されて前の画面に戻ります。

3.1 タッチすると、Front Lch 時の各座位の音声の音量が表示されます。
3.2 タッチすると、Front Rch 時の各座位の音声の音量が表示されます。
3.3 タッチすると、Front時の各座位の音声の音量が表示されます。
3.4 タッチすると、前の画面に戻ります。調整した音量が保存されます。

4 ユーザーボタン
このボタンをタッチすると、下記EQ設定図面3になります。

4.1 ▲ボタンまたは▼ボタンをタッチして、カスタマイズすることができます。
4.2 タッチすると、「FLAT」の音響効果に切り替わります。
4.3 タッチすると、前の画面に戻ります。カスタマイズした内容を保存されて、前の画面で表示されます

EQ設定画面3



5 ラウドネスボタン
低音ブーストのON/OFFの選択できます。

6 左右のスピーカーの音量バランスを調整します。
設定範囲:「L9」～「0」～「R9」
工場出荷時：0

7 フロント、リアのスピーカーの音量バランスを調整します。
設定範囲:「F9」～「0」～「R9」
工場出荷時：0

本体設定

メインメニュー画面の「AV・本体設定」アイコンをタッチして、本体の設定画面に入ります。
本体設定で設定できる項目は以下の通りとなります。
- 全般設定
- オーディオ設定
- ビデオ設定
- ナビゲーション設定
- その他

全般

1 タッチすると、時間についての数字キーボードが表示されて、時間調整できます。
（ナビの設定画面のGPS時間同期オフになっている場合のみ操作可能です）

2 「12時間表示」/「24時間表示」を切り替えることができます。

3 操作音の「ON」/「OFF」を切り替えることができます。工場出荷時:ON

4 ライトの色が設定できます

5 バージョンが表示します

本体の設定(つづき)

オーディオ

1 バック時の音声がフルボリューム/ハーフボリューム/ミュートが設定できます

2 [+]か[−]をタッチすると各ソースの音声が調整できます

本体の設定(つづき)

ビデオ

1 ディマーモードの[昼][夜][自動]が設定できます。
工場出荷時:自動

2 画面の明るさを調整します。調整範囲「0」～「20」。工場出荷時:20

3 DVD、USB、VTR、DTVなど、映像がフル画面で表示されているとき、画面の右上に時計表示/非表示に切り替えることができます。
ON:表示　OFF:非表示
工場出荷時:ON

本体の設定(つづき)

ナビゲーション

1 ナビガイド割り込み:ナビガイド画面の割り込みとPIP機能(ナビ/テレビ同時表示)を設定します。
ナビガイド割り込み:ON　ナビゲーションの誘導音声が割り込むと同時に、ナビガイド画面も割り込みます。
※ONに設定した場合、PIP機能は使用できません。

ナビガイド割り込み:OFF　ナビゲーションの誘導音声が割り込んだときでも、ナビガイド画面は割り込みません。
※OFFに設定した場合、PIP機能を使用できます。
　PIP機能が使用できる場合は、ナビ画面左側に「テレビ」のボタンが表示されます。(図1)

図1

本体の設定(つづき)

「テレビ」ボタンをタッチすると、PIP機能を使用できます。(図2)
分割画面の状態で地図画面を「タッチ」またはテレビ画面の「中止」ボタンをタッチすると、ナビゲーション全画面に切り替わります。

図2

タッチして番組項目を選択できます。

全スキャンボタンをタッチすると確認画面が表示されて、「決定」ボタンをタッチするとチャンネルスキャンが開始されます。

※「テレビ」ボタンは、地図上で自車位置を正しく表示しているときのみ(現在地表示しているのみ)アイコンが出ます。
地図をスクロールしているときには表示されませんのでご注意ください。

本体の設定(つづき)

2 音声案内: ナビゲーションの音声案内を「ON」「OFF」から設定します。
ONにした場合、ナビゲーションの音声案内の割り込み機能がオンになります。
割り込み中は、AVソースの音量が小さくなります。
OFFにした場合、ナビゲーションの音声案内の割り込み機能がオフになります。
ナビゲーションの音声案内の割り込み中でも、選択しているAVソースに変化はありません。
工場出荷時：ON

その他

1 言語が日本語/Englishから設定します。工場出荷時:日本語

2 バックガイドラインがON/OFFから設定します。工場出荷時:OFF

3 視聴制限のパレンタルレベルのパスワードを設定します。工場出荷時：ロック
※初期パスワード:1234、パスワードが忘れた場合、強制キャンセルパスワード4321をご入力して下さい。

4 視聴年齢制限レベルを「Kid Safe」/「G」/「PG」/「PG」/「PG-13」/「PG-R」/「R」/「NC-17」/「Adult」から設定します。工場出荷時:Adult。

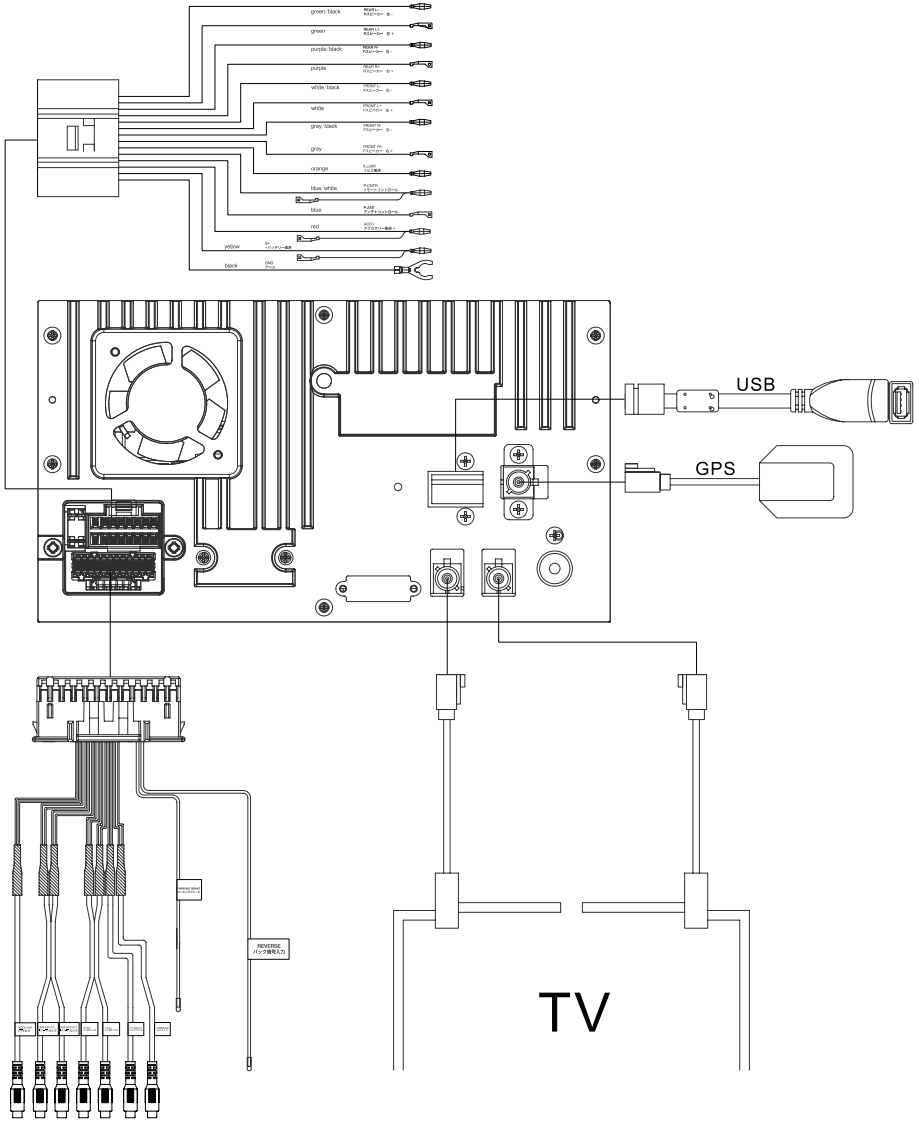
5 工場出荷時の設定に戻します。

⚠ ご注意

※ 視聴制限が設定されたディスクを再生する時にパスワードの入力画面が表示されることがあります。この場合は正しいパスワードを入力しないと、再生は開始しません。
※ 安全のために、初期化してもパスワードが初期化しません。

電源、ケーブルの接続方法

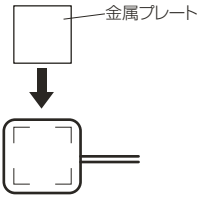
電源、ケーブルの接続方法



電源、ケーブルの接続方法(つづき)

GPSアンテナの取り付け

GPSアンテナは車内専用となります。
GPSアンテナは車載機器（※1）および各アンテナ類（※2）から50cm以上離して設置してください。
車載機器や各アンテナ類の近くに取り付けると、GPSが正常に機能せず、電波を受信しにくくなったり、誤動作を起こす可能性があります。
※1 ETC車載器、ビーコンユニット、カーオーディオ機器、レーダー探知機、ドライブレコーダーなど
※2 TVアンテナ、ETCアンテナなど

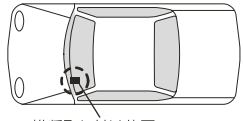


GPSアンテナ裏面

ダッシュボードに取り付ける場合

1.取り付け面の汚れ、油をふき取る
2.付属の金属プレートをアンテナを取り付ける所に両面テープで貼り付ける
3.アンテナを取り付ける
※アンテナは電波の遮られにくい水平な場所に設置してください。

電波の遮られにくい、平らな場所に設置してください。

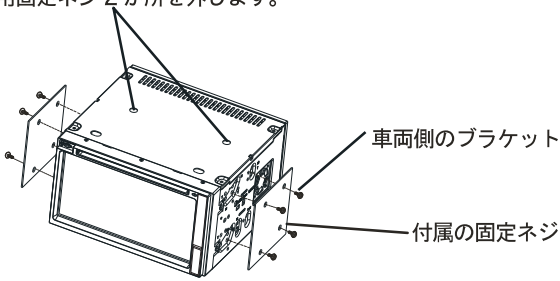

推奨取り付け位置

接続上のご注意
●本機の黒リード線(アース)を必ず最初に車のボディ金属部に接続してください。この時、緩みがないよう、確実に取り付けてください。また、パワーアンプ等の消費電力の大きい製品のアースとは別の場所に取り付けてください。一か所に集中して取り付けると、ネジの緩みや外れる可能性があり、製品の発煙・故障の原因となる恐れがあります。
※アースの取り付け方によっては、動作が不安定になる場合がありますので、その場合は、アースの取り回しをご確認ください
●必ず付属されている部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると故障する恐れがあります。
●コネクターは"カチッ"と音がするまで押し込み確実に接続してください。
●コネクターを取り外す際は、コネクタ部分のロックを押しながら引き抜いてください。無理に引っ張るとコードが切断される可能性があります。

本体の設置方法

本体の設置方法

1. 初めに輸送用固定ネジ 2 か所を外します。



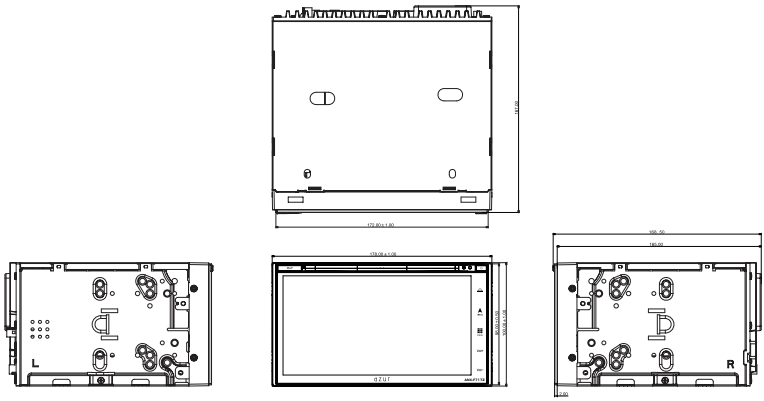
2. 車両に付属のブラケットのネジ穴に合わせて取付位置を選び、付属の固定用ネジで取り付けます。

3. 車両の元の位置に取り付けします。

※取り付けは水平に対して、30 度以下の角度に取り付けてください。

※フェイスパネル（ワイドパネル）、
ブラケットの形状によっては、付属のねじで取り付けられないことがあります。
付属の固定ねじ以外で取り付ける場合は、ねじ部を 6 ミリ以上ねじ込まないでください。

本体の外形寸法図



フィルムアンテナについて

次のようなところでは、映りにくいまたは映らないことがあります

- ビルとビルの間を走行または停車している場合
- 上空を飛行機または電車が近くを通過している場合
- 送電線の付近を走行している場合
- 電波塔から遠いところを走行している場合
- 山かげや木立の陰に入って走行している場合
- トンネル内や鉄橋を走行している場合
- 地下や高架下等を走行または停車している場合
- ラジオ、アマチュア無線／業務用無線の送信アンテナの近くを走行、または自ら発信しているとき
- 車両搭載機器（※）が作動している場合、ノイズが発生し、アンテナレベルが低下することがあります。
  ※電動ドアミラー／パワーウィンドウ／エアコン／ HID ランプ／電動カーテン
  電動サンルーフ／ドライブレコーダー／レーダー探知機／車載用モニターなど

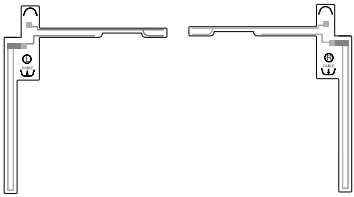
貼り付ける際の注意点

- フィルムアンテナ、アンプ、ケーブルをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等の揮発性のもので拭かないでください。
- フィルムアンテナを折り曲げたり、傷を付けたりしないでください。断線等により電波の受信が悪くなる場合があります。
- ガラスを拭くなどするときは、強くこすらないでください。また、シールやステッカー剥がし剤を使わないでください。破損の原因となります。
- 一度貼り付けると、エレメントの素子破損や粘着力が低下するため、貼り直しできません。アンテナを貼る前に必ずコード及びアンテナを仮止めし、コードの引きまわしなどを十分に検討してから貼り付けてください。
- 必ずフロントウィンドウの指定の位置、寸法内に正しく貼り付けてください。
- サイドガラスやリアガラスには貼らないでください。
- フロントウィンドウ (内側）の汚れ（ゴミ、ホコリ、油など）や、くもり止めや水分などをアルコール等できれいにふき取ってください。ガラス面が乾かないうちは貼り付けないでください。また、市販の界面活性剤入りのクリーナーは使用しないでください。
- アンテナフィルムやはくり紙などを剥がした面には手で触れないでください。
  また長期間の放置はしないでください。汚れや汗または静電気による故障や接触不良の原因になります。
- ガラス面が結露したり気温が低いときは貼りつかなくなります。湿度が高いときはエアコンをオンにして十分に乾かすか、気温が低いときは車内ヒーターやデフロスター、またはドライヤーなどで貼り付け部分を暖めて、結露しないことを確認してから貼り付けてください。

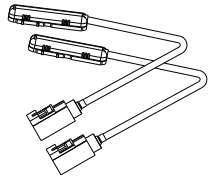
フィルムアンテナの構成

1 セット部品一覧
※ 本製品はフィルムアンテナが 2 セット付属しています。

フィルムアンテナx2



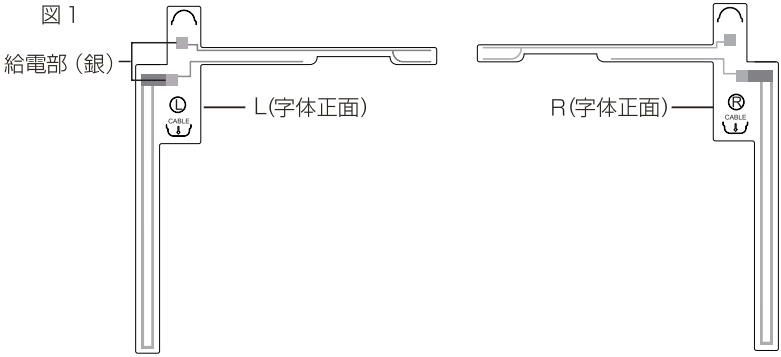
アンテナケーブル（アンプ付き）x2



2 フィルムアンテナ構造

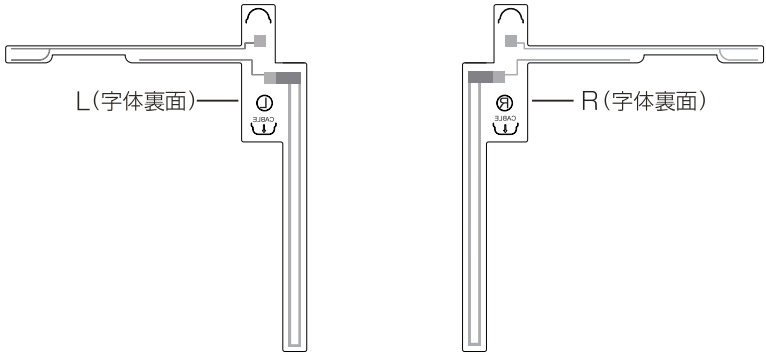
車側：「L」と「R」の文字が通常に確認できる面が車の内側になります。

図1



フロントガラス側：「L」と「R」の文字が反対になる面がフロントガラス側になります。

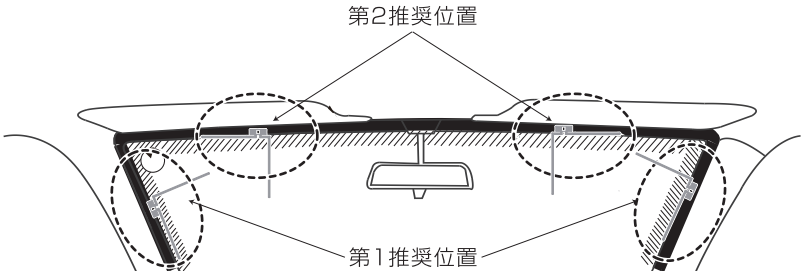
図2　　車のガラス部分に貼り付けます。



貼付位置について

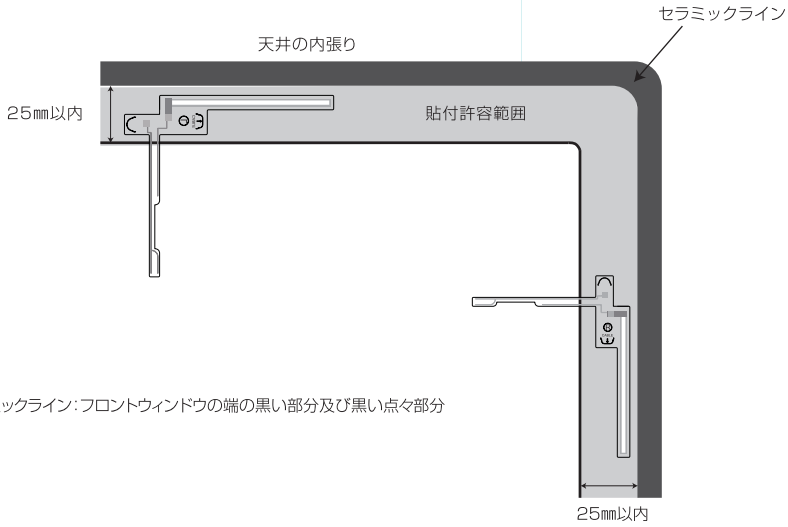
■ アンテナは点検シール、検査標章などに重ねないでください。
■ 受信感度低下を防ぐために、他のアンテナや ETC 受光部から 十分離して 貼り付けてください。
■ アンテナの給電部及びアンプ部は、セラミックライン 上または、内張りに重 ならないように、必ず貼付許容範囲内に貼り付けてください。

第1推奨位置は以下の通りです。
第2推奨位置は以下の通りです。



■貼付許容範囲
フィルムアンテナの給電部及びアンプ部は、必ず許容範囲内に貼り付けてください。

貼付許容範囲：セラミックラインより内側に２５㎜以内の範囲

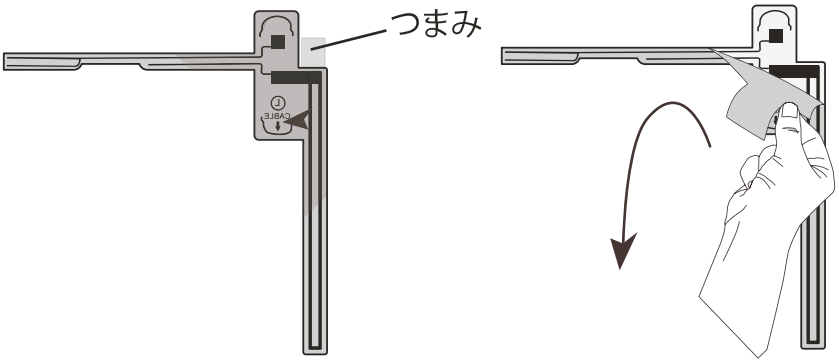


※セラミックライン：フロントウィンドウの端の黒い部分及び黒い点々部分

フィルムアンテナを貼り付ける

1 フィルムアンテナ背面テープ余白の部分 を持って、セパレーターを剥がして､予め決めた位置に貼り付けてください。

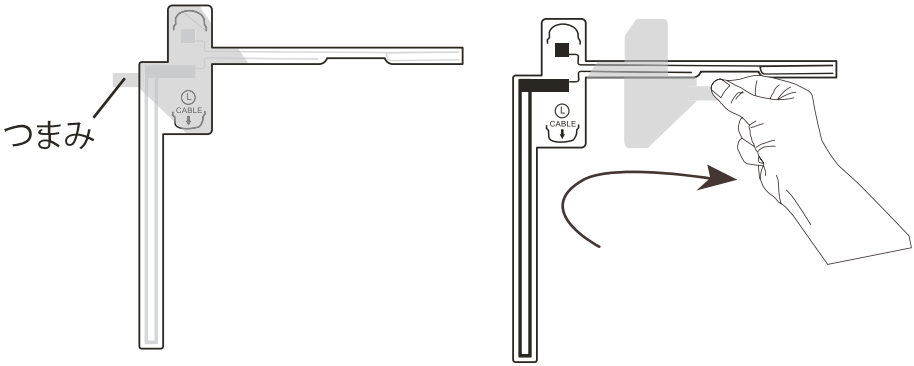
図 1



2 フィルムアンテナ全体をなぞるようにして、ガラス面に密着させてください。

3 フィルムアンテナ正面の ラベル を持って、セパレーターを剥がしてください。

図 2



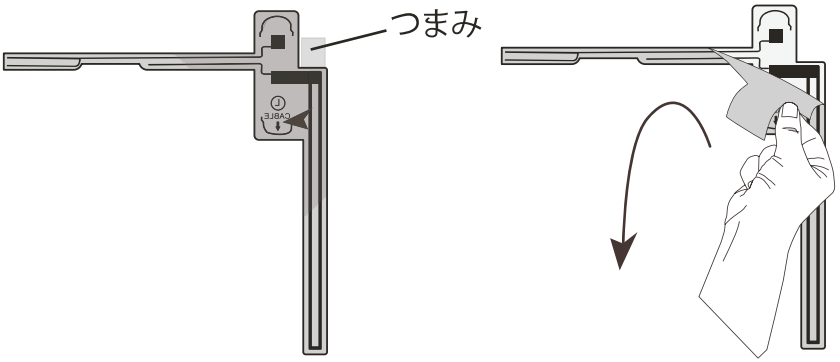
⚠ ご注意

※ フィルムアンテナの貼り直しは、粘着力が弱くなるほか、アンテナ自体が破損する恐れがあるため、お止めください。

フィルムアンテナを貼り付ける

1 フィルムアンテナ背面テープ余白の部分 を持って、セパレーターを剥がして､予め決めた位置に貼り付けてください。

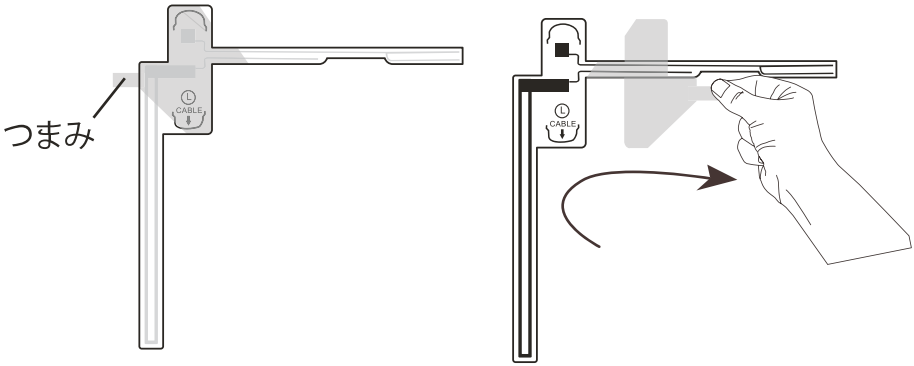
図 1



2 フィルムアンテナ全体をなぞるようにして、ガラス面に密着させてください。

3 フィルムアンテナ正面の ラベル を持って、セパレーターを剥がしてください。

図 2

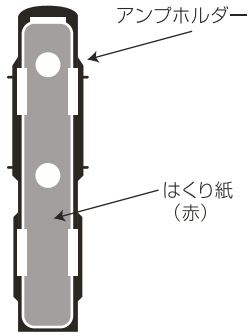


⚠ ご注意

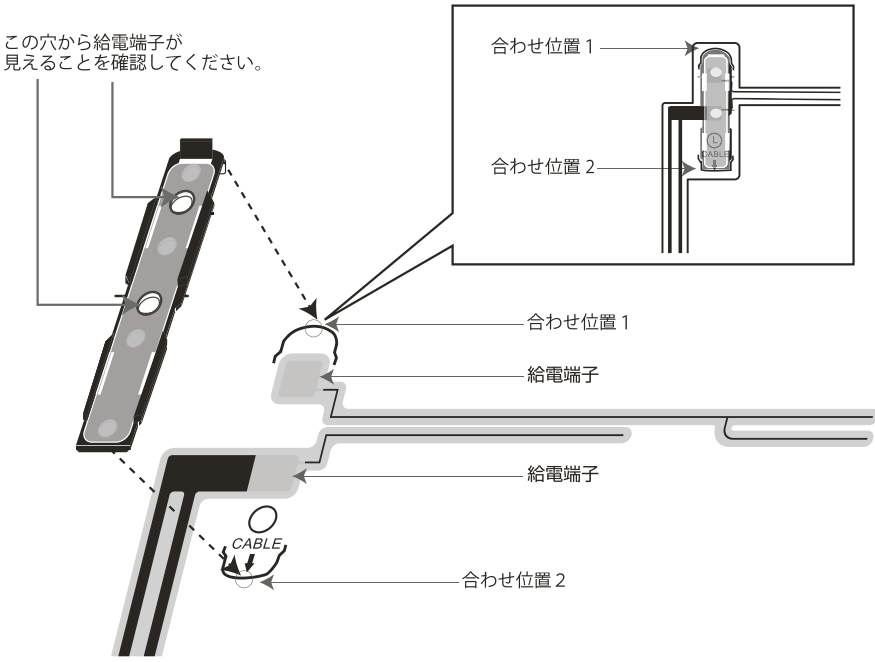
※ フィルムアンテナの貼り直しは、粘着力が弱くなるほか、アンテナ自体が破損する恐れがあるため、お止めください。

アンプホルダーを給電端子部に貼り付ける

1 アンプホルダー裏面のはくり紙をはがします。

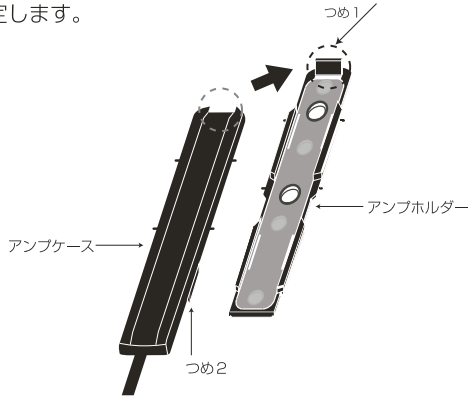


2 給電端子部にアンプホルダーを貼り付けてください。
アンプホルダーの「突起部１」、「突起部２」と
エレメントの「合わせ位置１」、「合わせ位置２」が
合うように取り付けます。

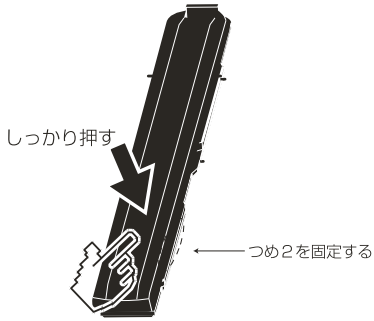


アンテナケーブルを固定する

アンプホルダーのつめ1にアンプケースの先端をひっかけて、それを支点にしてつめ2を固定します。



「カチッ」と音がなるまでアンプケースを押して、つめ2をしっかり固定する。



付属のアンテナ固定用テープで､ケーブルを固定してください。
※アンテナ線は引っ張らないでください。アンプホルダーに負荷がかかり、外れる原因となることがあります。

⚠警 告

- ※ ピラーにエアバックが装着されて車両では、エアバッグの妨げにならないところに配線してください。
- ※ 車両のペダル付近には配線しないでください。
- ※ 運転の妨げにならない場所に配線してください。

アンテナ端子を接続する

アンテナ端子を本体に接続してください。

トラブルシューティング

トラブルシューティング　一般項目

症状	原因	こうしてください
電源が入らない	電源ケーブルは正しく接続されていますか? ヒューズは切れていませんか? 他の機器のノイズを受けていませんか?	配線を確認してください ヒューズを交換してください(15A) 本機から他の機器を離してください
タッチパネルが反応しない 反応が悪い	タッチパネルの補正を行いましたか?	タッチパネル補正を行なってください
再生できない	ディスクが汚れていませんか? この機器に対応したディスクですか? ディスクが正しく挿入されていますか?	ディスクをクリーニングしてください ディスクを確認してください ディスクの向きを確認してください
音が出ない	ミュートになっていませんか? 配線は正しいですか?	ミュートを解除してください 配線を確認してください
音量が小さい	ボリュームが小さくないですか?	音量を上げてください
前後のスピーカーから音が出ない	前後のバランスは0になっていますか?	オーディオのフェーダー/バランス設定をしてください
左右のスピーカーから音が出ない	左右のバランスは0になっていますか?	
液晶のドット欠け		液晶ディスプレイは精密度の高い技術で作られており、画面の一部に点灯しないドットや常時点灯しているドットがある場合がありますが、これは故障ではありません
本体の電源が落ちて再起動してしまう。または、アイドリングストップ車で、アイドリングストップからエンジン始動の時に本体が再起動してしまう	本製品では、車両の電圧値が8.5V(最低必要電圧値)以下になった場合、回路保護により、ナビ自体の電源が切れる仕組みとなっています	車両側の電圧値は正常か確認してください 電源ケーブルの取り回しを確認してください 電源ケーブルの接続は正しいか確認してください アース(GND)は確実に取り付けられているか確認してください

トラブルシューティング　FM/AM

症状	原因	こうしてください
電波受信ができない	アンテナは接続していますか?LOC/DX機能は設定しましたか?	アンテナを接続してください DXを選択してください

トラブルシューティング（つづき)

DISC/USB

症状	原因	こうしてください
再生できない	メニュー画面でチャプター選択の画面ではないでしょうか?	チャプターを選択してください
画面が映らない	パーキング線は接続されていますか?	パーキング線の接続を確認してください
音が出ない	画像を再生中ではないですか? ボリュームが0になっていませんか? ミュートになっていませんか? AUDIO OFF機能がONになっていませんか?	他のモードに切り替えてください ボリュームを上げてください ミュートを解除してください AUDIO ON機能をOFFにしてください
言語と字幕を変更できない	ディスクに2種類以上の言語/字幕が入っていますか?	複数言語/字幕対応のディスクをご使用ください
ディスク再生中ノイズが大きい・回転音が大きい	ディスクに傷や曲がりはないですか? ディスクは汚れていませんか? ディスクは本機に対応していますか?	ディスクを交換、確認してください
MP3再生中、ノイズが大きい再生再生ができない	フォーマットは正しいですか? 圧縮は正しく行われていますか?	対応フォーマットを確認してください
ファイルの表示名が正しく表示しない	ファイル名の半角、全角、数字は正しいデータですか?	ファイル名を確認してください

DTV

症状	原因	対処方法
テレビが映らない テレビの映りが悪い	アンテナを接続していますか? チャンネルスキャンはしていますか? アンテナの貼り付け位置は正しいですか? 電波の悪い場所を走行していませんか?	アンテナを接続してください チャンネルスキャンをしてください アンテナを¥正しい位置に貼り付けてください 場所や方向、環境により受信状態が変化します
受信に時間がかかる	電源を入れた時やチャンネルを切り替えた時ではありませんか?	電源を入れた時やチャンネルを変えた際、データ取得のため映像を表示するまで時間がかる場合があります
画面にブロックノイズが出る	自動車、電車、高圧線、ネオンサインなどから電波位の影響を受けていませんか? 近くにラジオ放送やアマチュア無線の送信アンテナがありませんか?	電波の影響を受けない場所へ移動してください

トラブルシューティング（つづき）

ナビゲーション

症状	原因	こうしてください
GPS受信の表示が出ない	アンテナケーブルが接続されていますか？	アンテナケーブルを接続してください
	障害物などにより、ＧＰＳ衛星の電波の受信を遮っていませんか？	障害物などが無くなれば、受信できます
音声案内が出ない	フェリーなどで大幅に移動しましたか？	走行することにより表示されるようになります
	ナビモードの音声設定で「しない」に設定していませんか？	「音声」設定をしてください
地図画面が乱れる	電気的ノイズを発生する電気機器を本機の近くで使用していませんか？	本機からできるだけ遠ざけてお使いください。遠ざけても影響が出る場合は、ご使用をお控えください

※カーナビゲーションも詳しい説明については、別冊の取扱説明書（ナビ）を参照ください

本機で使用できるメディアとフォーマットについて

分類	ファイル形式		メディア		
	ファイル拡張子	音声形式	CD	DVD	USB
オディオ	.mp3	MP3	○	○	○
	.wma	WMA	○	○	○
ビデオ	.avi	MP3	ー	○	○
	.mp4	AAC	ー	○	ー
	.m4v	AAC	ー	ー	ー
	.3gp	AAC	ー	ー	ー
		AMR			
	.mpeg	MP3	ー	○	○
	.mpg	MP3	ー	○	○
	.divx	MP3	ー	ー	ー

○:再生できます　ー:再生できません

※音声および映像コーデックの組み合わせによって正しく再生できない場合があります
※ビットレート、サンプリングレート、フレームレートによっては正しく再生できない場合があります
※ファイルのエンコードおよびライティングにより、正しく再生できない場合があります
※文字コードによって、表示内容が正しく表示されない場合があります
※フォルダーの表示順序は、エンコードしたパソコンやアプリケーションにより、期待したものとは異なる場合があります
※ファイルのデータサイズにより、再生時の動作が遅延する場合があります

仕様

品名	フルセグチューナー内蔵メモリーナビゲーション
型番	ANX-F717Z
ディスプレイ	6.75型TFT LCD LEDバックライト 解像度800×480RGB（WVGA）
地上波テレビ受信周波数	473.143MHZ～767.143MHZ
FM/AM受信周波数	FM:76MHz～95MHz
	AM:522kHz～1629kHz
USB	2.0（MAX :32GB対応）
マイクロSDカード	地図専用
使用電源	DC12V（10.8V - 16V）
最大出力	40W×4
適合スピーカーインピーダンス	4Ω
動作温度範囲	-10℃～+60℃
寸法	約178×100×166㎜
本体重量	約 2.25Kg
マルチメディア	
Video	AVI/MPEG
Audio	MP3/WMA
対応ディスク	DVD/DVD±R/DVD±RW/CD/CD-R/CD-RW/CPRM
付属品	
取扱説明書（本体）×１	○
取扱説明書（ナビ専用）×１	○
保証書×１	○
AVケーブル×1	○
電源ケーブル×１	○
GPSアンテナ×１	○
金属プレート×1	○
B-CASカード×１	○
フィルムアンテナセット×２	○
地図SDカード（本体内蔵）×１	○
取り付け用ネジ x８	○

※本機の仕様及び外観は、改良のため予告無く変更することがありますが、ご了承ください。
※性能向上の為の本体ソフトウェアーの提供は、弊社ホームページ　www.innovativesale.co.jp で公開します。

azur

輸入元:株式会社イノベイティブ販売

〒343-0003 埼玉県越谷市船渡68-8

●お問い合わせはサービスセンターへ

電話…048-970-5027

※電話受付時間(土日祝祭日除く)

平日 9:00~12:00　13:00~17:00

http://www.innovativesale.co.jp/

2018.01